

# 自動車盗の発生状況(令和7年中)

街頭  
犯罪

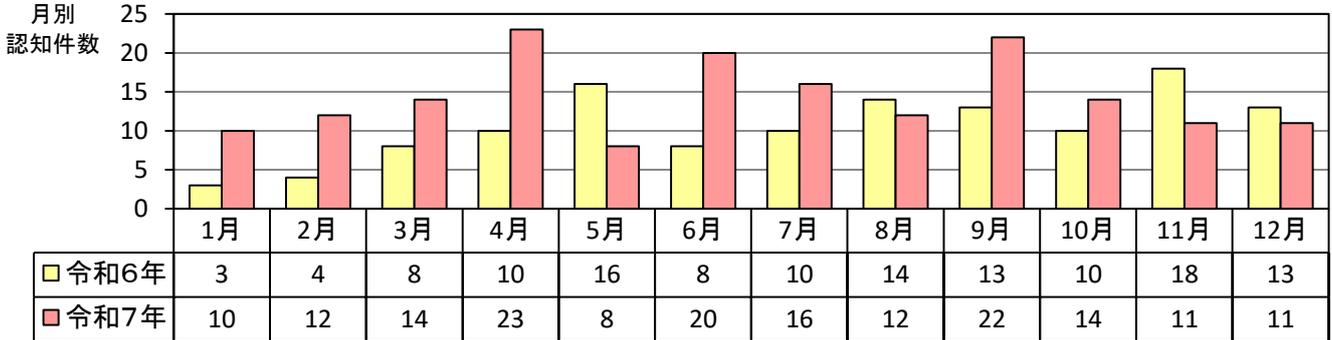
## 1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
173	+46	+36.2%

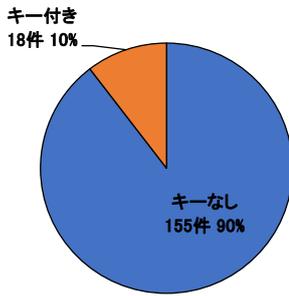
被害回復件数(前年比)		被害回復率(前年比)	
27	±0	15.6%	-5.7%

※被害回復とは、検挙等で被害者に返還されたものをいう

令和7年中、県内における自動車盗は累計で173件発生、被害総額は約8億698万円、前年比+46件(増減率+36.2%)となっており、約2日に1台が盗難被害に遭っています。

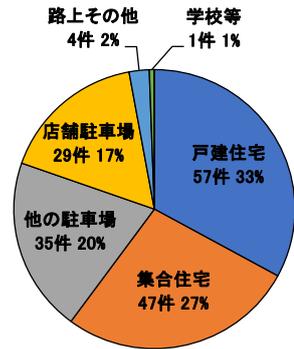


## 2 被害時におけるキー付きの有無



キーなし被害は90%

## 3 被害場所



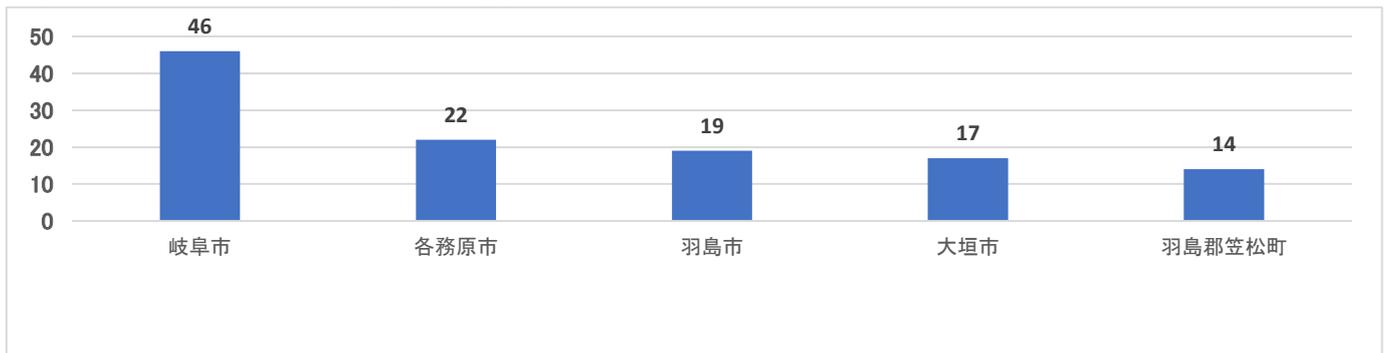
自宅周辺による被害は60%  
(自宅周辺：戸建住宅・集合住宅)

## 4 被害車両の種別

車種別認知件数	乗用車	貨物自動車	特殊自動車	他の自動車
	135	6	6	0

※ 未遂 26件

## 5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



### ～ 自動車盗難防止のポイント ～

1. 短時間の駐車でも車から離れるときは、必ず「エンジンキーを抜き」「ドアロック」をしましょう。
2. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。
3. ハンドルロック、タイヤロック、警報機等の盗難防止装置を活用しましょう。

# オートバイ盗の発生状況(令和7年中)

街頭  
犯罪

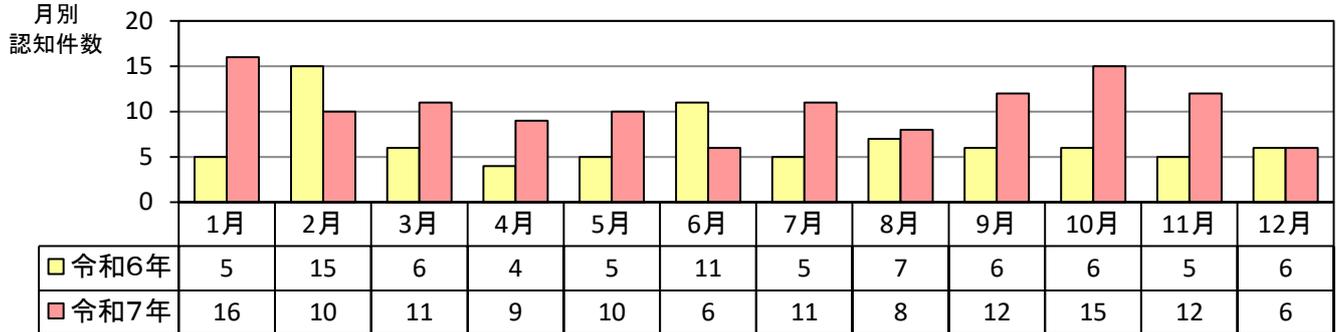
## 1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
126	+45	+55.6%

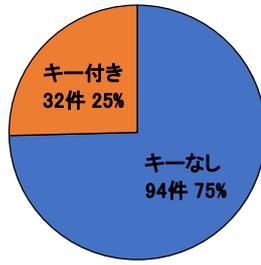
被害回復件数(前年比)	被害回復率(前年比)
53	42.1%
+24	+6.3%

※被害回復とは、検挙等で被害者に返還されたものをいう

令和7年中、県内におけるオートバイ盗は累計で126件発生、前年比+45件(増減率+55.6%)となっており、126件中103件は原動機付自転車の盗難被害になります。

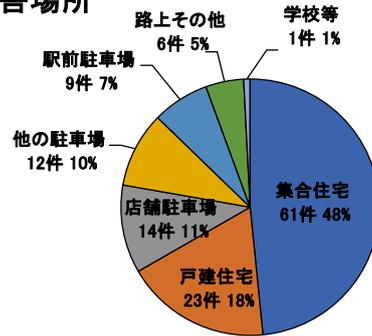


## 2 被害時におけるキー付きの有無



キーなし被害が75%

## 3 被害場所



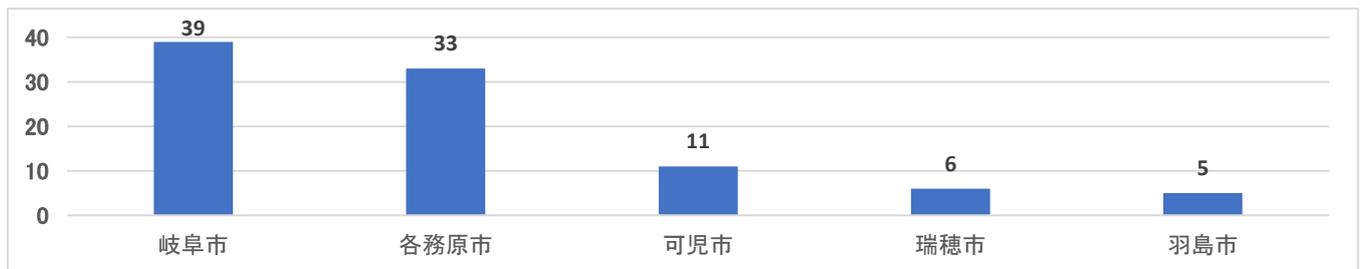
自宅周辺による被害は66%  
(自宅周辺：戸建・集合住宅)

## 4 被害者の年代

年齢別認知件数	未成年	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
	7	46	23	15	14	18

※法人の被害3件

## 5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



## ～ オートバイ盗難防止のポイント ～

1. オートバイから離れるときは、必ず「エンジンキーを抜き」「ハンドルロック」をしましょう。
2. U字ロックやワイヤーロックで「ツーロック」をして、バイクカバーを掛けましょう。
3. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。

# 自転車盗の発生状況(令和7年中)

街頭  
犯罪

## 1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
1,875	+245	+15.0%

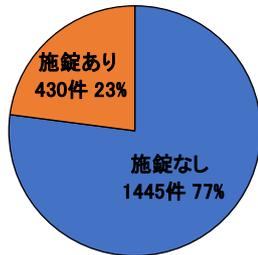
被害回復件数(前年比)		被害回復率(前年比)	
961	+91	51.3%	-2.1%

※ 被害回復とは、検挙等で被害者に返還されたものをいう

令和7年中、県内における自転車盗は累計で1,875件発生、前年比+245件(増減率+15.0%)となっており、刑法犯全体の約14.6%を占め、1日平均5台が盗難被害に遭っています。

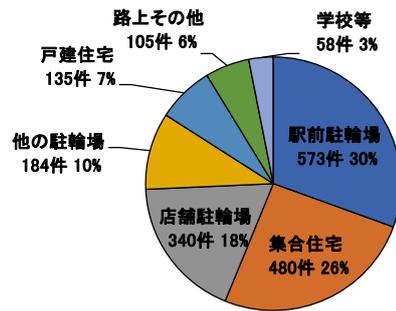


## 2 被害時における施錠の有無



無施錠被害は77%

## 3 被害場所

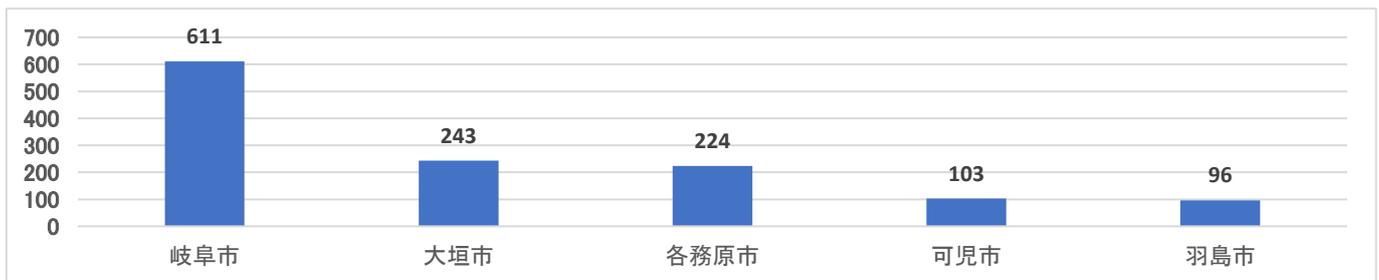


駐輪場による被害は58%  
駐輪場(駅前駐輪場、店舗駐輪場、他の駐輪場)

## 4 被害者の職業

職業別	小学生	中学生	高校生	大学生	専修生等	学生以外
認知件数	16	138	634	284	103	700
(うち無施錠)	15	117	525	222	89	477

## 5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



### ～ 自転車盗難防止のポイント ～

1. 少しの時間でも自転車から離れるときは、必ず鍵を掛けましょう。
2. 駐輪する際の施錠は、「ツーロック」をしましょう。
3. 駐輪する際は、防犯設備の整った駐輪場を利用しましょう。

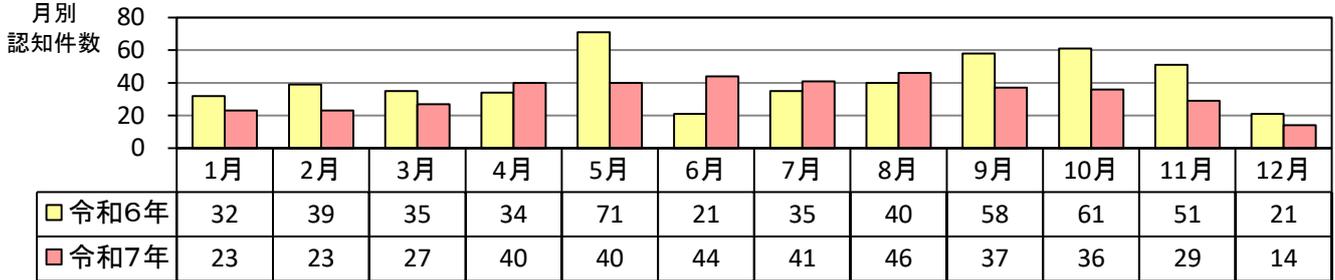
# 車上ねらいの発生状況(令和7年中)

街頭  
犯罪

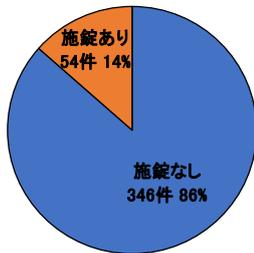
## 1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
400	-98	-19.7%

令和7年中、県内における車上ねらいは累計で400件発生、被害総額は約2,310万円、前年比-98件(増減率-19.7%)となっており、1日平均1台が盗難被害に遭っています。  
車上ねらい被害のうち346件(約87%)は無施錠の状態被害に遭っています。

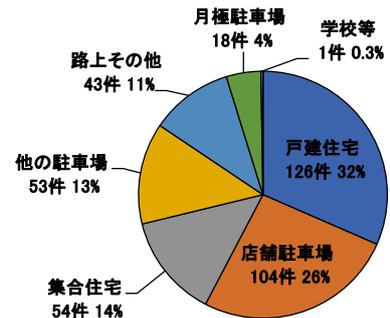


## 2 被害時における施錠の有無



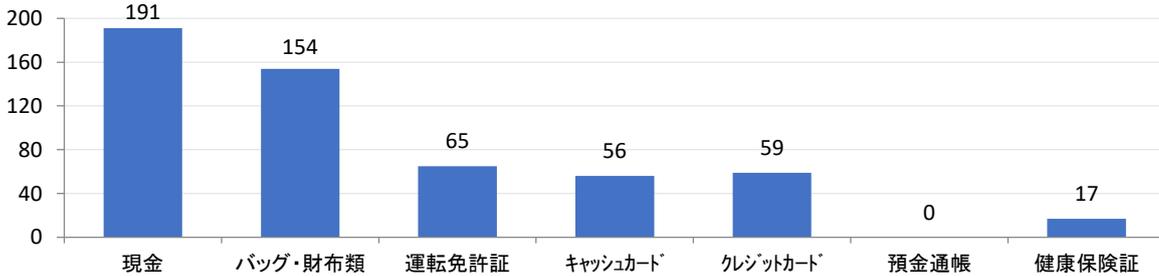
無施錠時の被害が86%

## 3 被害場所

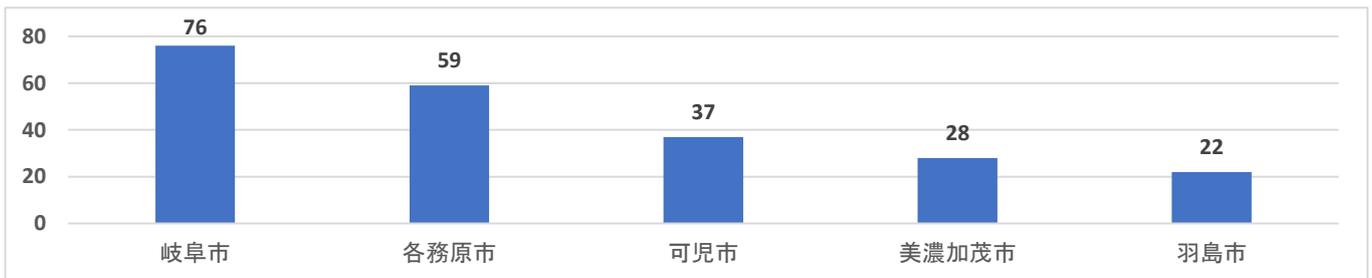


自宅周辺による被害は50%  
(自宅周辺：戸建住宅、集合住宅、月極駐車場)

## 4 主な被害品(被害品を複数計上)



## 5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



### ～ 車上ねらい被害防止のポイント ～

1. 駐車時には、必ず「施錠」をして、車内には「カバンや貴重品を放置しない」ようにしましょう。
2. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。
3. 振動センサーなどの盗難防止装置を活用しましょう。

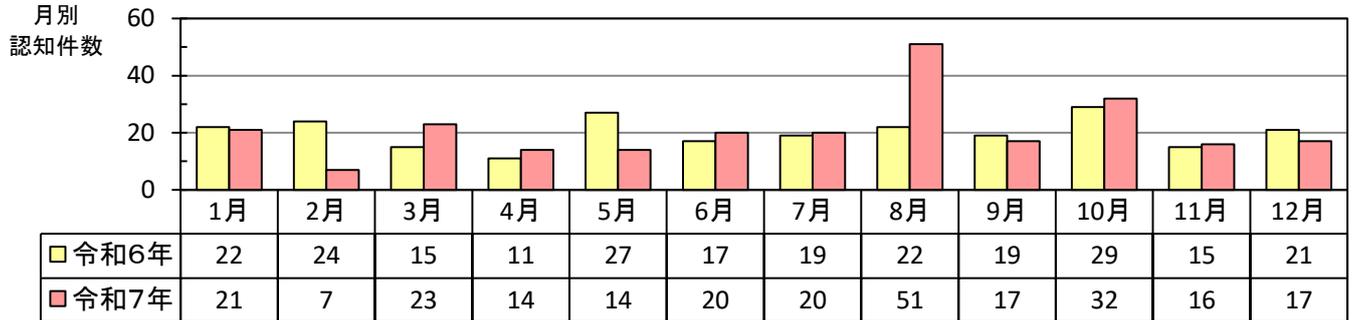
# 部品ねらいの発生状況(令和7年中)

街頭  
犯罪

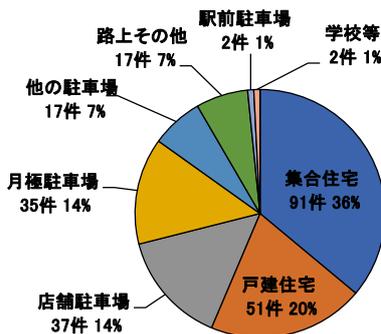
## 1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
252	+11	+4.6%

令和7年中、県内における部品ねらいは累計で252件発生、被害総額は約555万円、前年比+11件(増減率+4.6%)となっており、1日に平均1台が被害に遭っています。



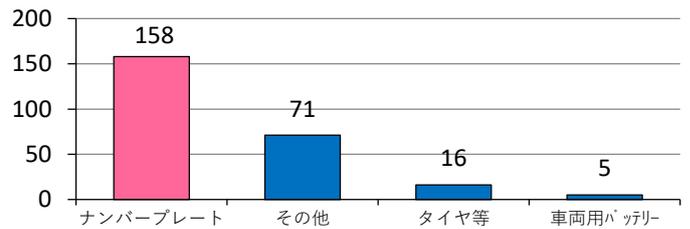
## 2 被害場所



自宅周辺による被害は70%  
(自宅周辺：戸建住宅・集合住宅・月極駐車場)

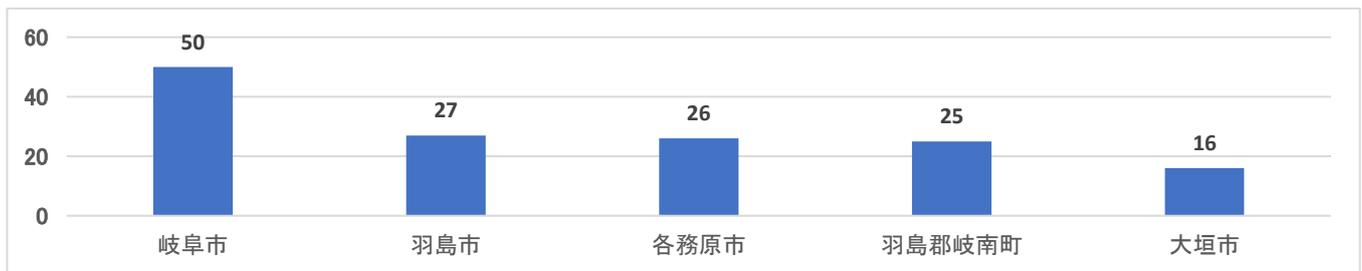


## 3 主な被害品



ナンバープレートやその他の車両部品(外装等)の被害が多い。  
その他の車両部品(外装等)としてバッテリー、ヘッドライト、エンブレム等が狙われている。  
被害を防ぐには、  
○ ナンバープレート盗難防止ネジ  
○ タイヤ盗難防止ナット  
○ バッテリー盗難防止ロックナット  
などによる**車両部品に対する防犯対策**が必要!

## 4 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



### ～ 部品ねらい被害防止のポイント ～

1. ナンバープレートには、「盗難防止ネジ」を装着しましょう。
2. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。
3. ロックナット、警報機等の盗難防止装置を活用しましょう。

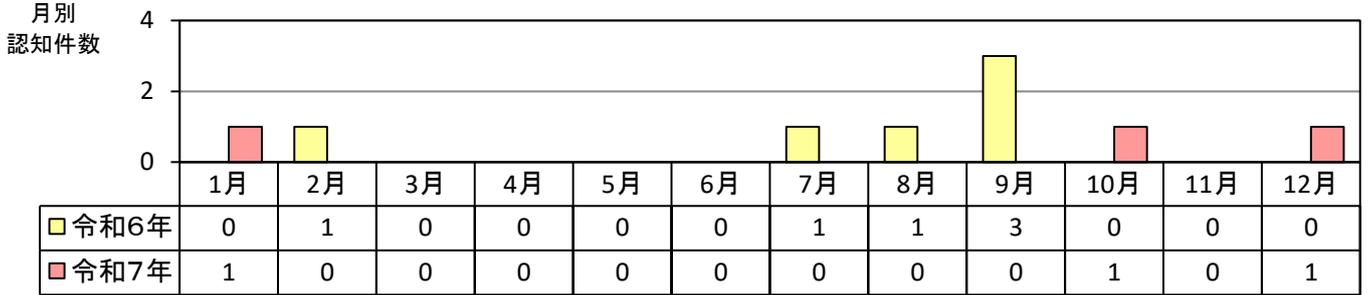
# ひったくりの発生状況(令和7年中)

街頭  
犯罪

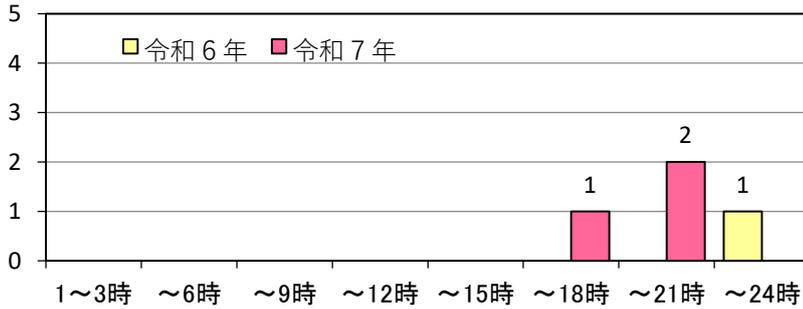
## 1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
3	-3	-50.0%

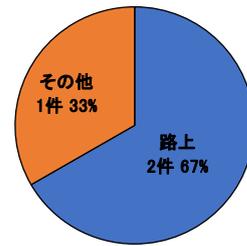
令和7年中、県内におけるひったくりは累計で3件発生、前年比-3件となっています。



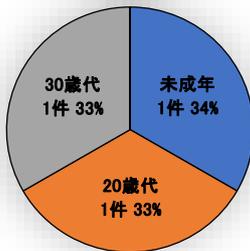
## 2 時間帯別発生状況



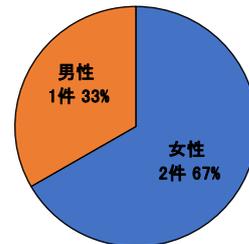
## 3 場所別発生状況



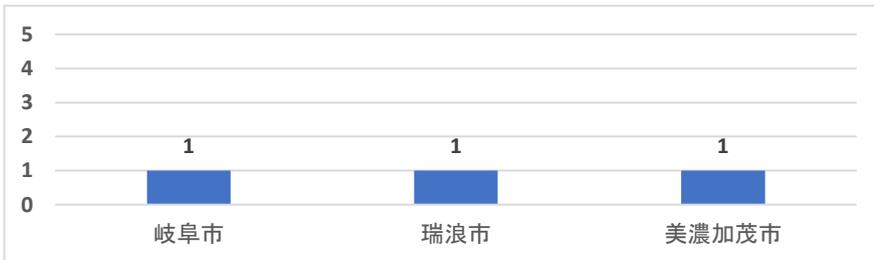
## 4 被害者の年齢



## 5 被害者の性別



## 6 市町村別発生状況



### ～ ひったくり被害防止のポイント ～

1. 道路や歩道では、車道の反対側にカバンや荷物を持ちましょう。
2. 自転車のカゴには、ひったくり防止のカバーやネットを取り付けるのが被害防止に有効です。
3. 金融機関、ATM等を利用した後などは、特に周囲に注意してください。

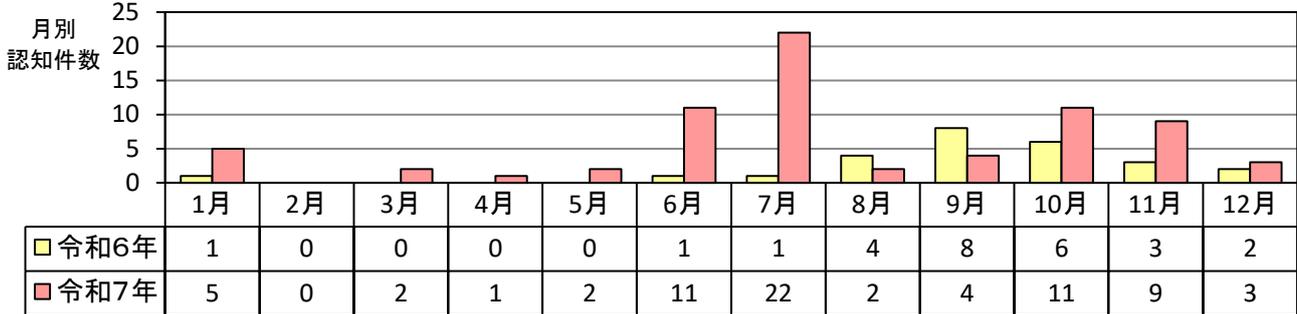
# 自販機ねらいの発生状況(令和7年中)

街頭  
犯罪

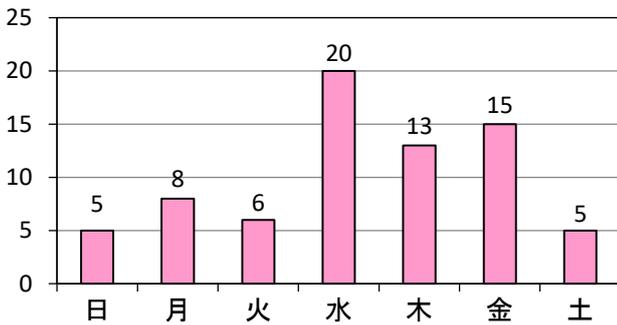
## 1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
72	+46	+176.9%

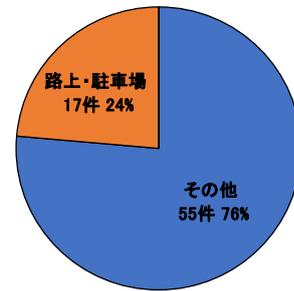
令和7年中、県内における自販機ねらいは累計で72件発生、被害総額は約135万円、前年比+46件(増減率+176.9%)となっており、約5日に1件発生しています。



## 2 曜日別発生状況



## 3 場所別発生状況



その他による被害は76%

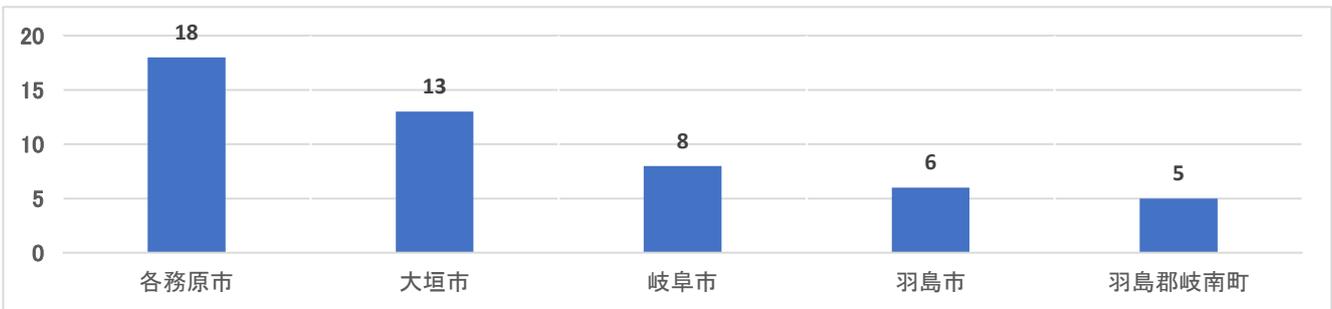
※ その他は住宅・会社・事務所など

## 4 地域別発生状況

地域別 認知件数	岐阜地域	西濃地域	中濃地域	東濃地域	飛騨地域
	39	20	11	1	1



## 5 市町村別発生状況



## ～ 自販機ねらい被害防止のポイント ～

1. 自動販売機の設置場所付近に、防犯カメラやセンサーライト等の防犯機器を設置しましょう。
2. 店内や軒下でも被害に遭っていることから、自動販売機自体を堅牢化しましょう。
3. 自動販売機内の売上金等は、こまめに回収しましょう。

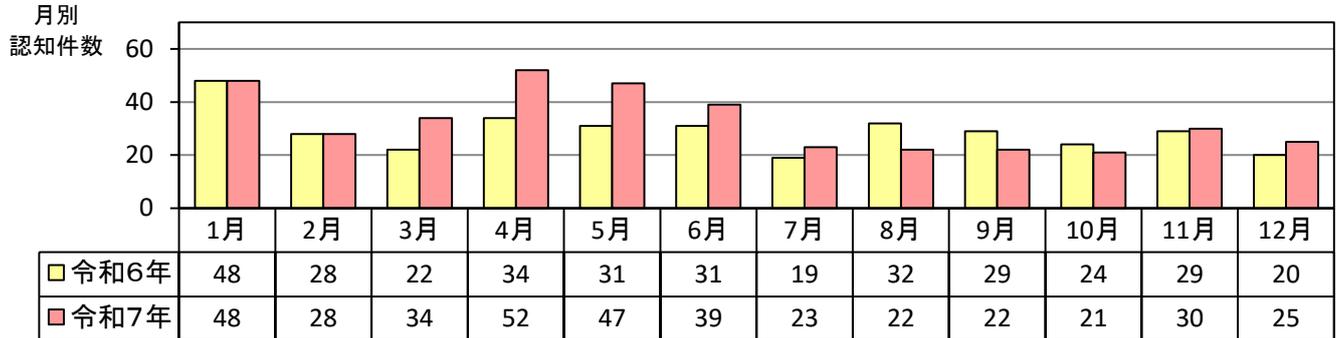
# 空き巣の発生状況(令和7年中)

侵入  
犯罪

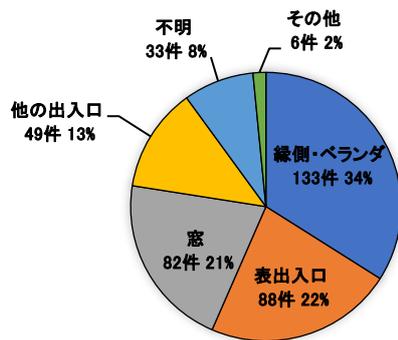
## 1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
391	+44	+12.7%

令和7年中、県内における空き巣は累計で391件発生、被害総額は約7億7,217万円で、前年比+44件(増減率+12.7%)となっており、1日平均1件発生しています。

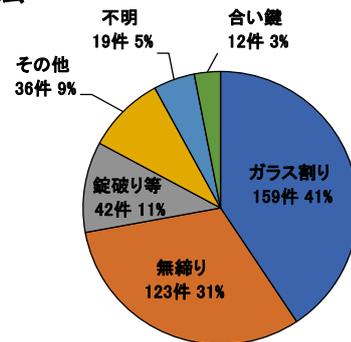


## 2 侵入箇所



出入口からの侵入による被害は35%

## 3 侵入方法



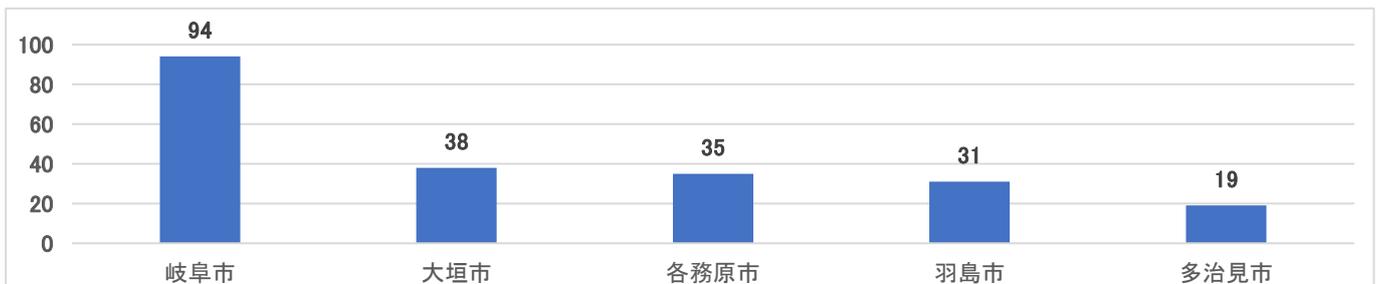
ガラス割りによる被害は41%

## 4 建物別発生状況

建物別認知件数	戸建住宅	集合住宅(低層)	集合住宅(中高層)	その他
	320	46	17	8

※ 低層 ~ 2階建て以下  
中高層 ~ 3階建て以上

## 5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



## ～ 空き巣被害防止のポイント ～

- 外出するときは、必ず出入口、窓などに鍵を掛け、無締り箇所がないか確認しましょう。
- 家屋の外周には、侵入の足場になるような物を置かないようにしましょう。
- 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
- 大きな音の出る防犯砂利やセンサーライト、防犯カメラを設置する等、2重3重の防犯対策が重要です。

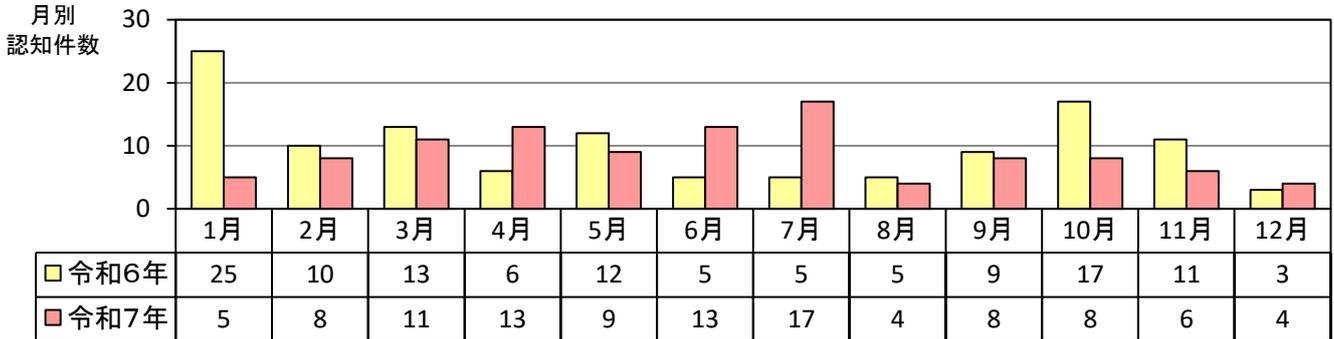
# 忍込みの発生状況(令和7年中)

侵入  
犯罪

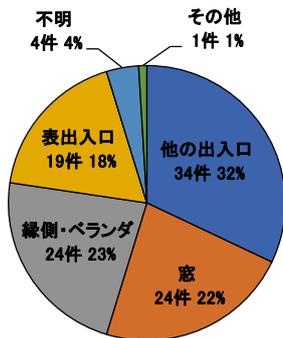
## 1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
106	-15	-12.4%

令和7年中、県内における忍込みは累計で106件発生、被害総額は約4,440万円、前年比-15件(増減率-12.4%)となっており、約3日に1件発生しています。

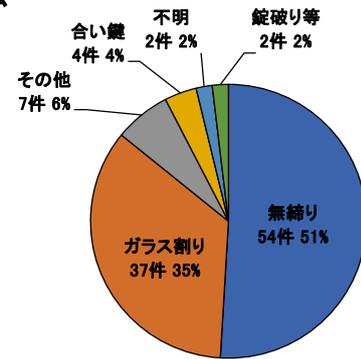


## 2 侵入箇所



出入口からの侵入による被害は50%

## 3 侵入方法



無締りによる被害は51%

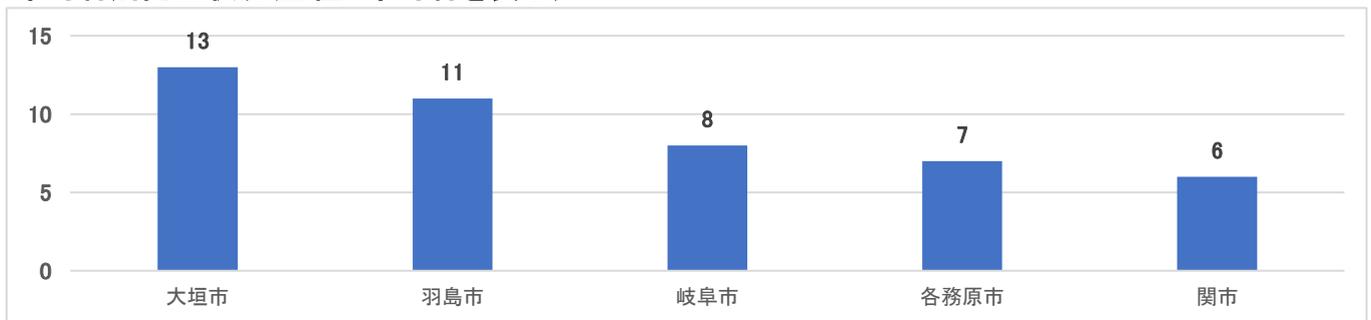
## 4 建物別発生状況

建物別認知件数	戸建住宅	集合住宅(低層)	集合住宅(中高層)	その他の建物
	99	4	3	0

※低層～2階建て以下  
中高層～3階建て以上

※戸建住宅が被害の対象となっている。

## 5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



## ～ 忍込み被害防止のポイント ～

1. 在宅時も出入口、窓など確実な施錠を習慣づけましょう。
2. 家屋の外周には、侵入の足場になるような物を置かないようにしましょう。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 大きな音の出る防犯砂利やセンサーライト、防犯カメラを設置する等、2重3重の防犯対策が重要です。

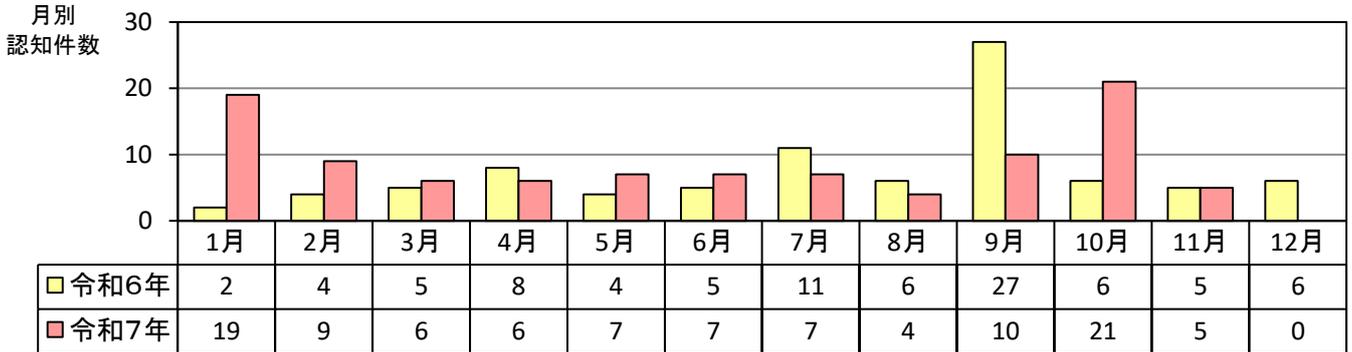
# 事務所荒しの発生状況(令和7年中)

侵入  
犯罪

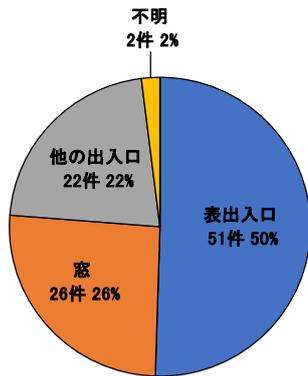
## 1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
101	+12	+13.5%

令和7年中、県内における事務所荒しは累計で101件発生、被害総額は約2,009万円、前年比+12件(増減率+13.5%)となっており、約4日に1件発生しています。

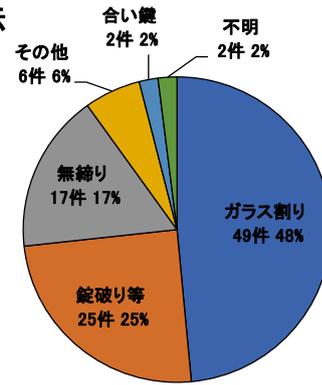


## 2 侵入箇所



出入口からの侵入被害は72%

## 3 侵入方法

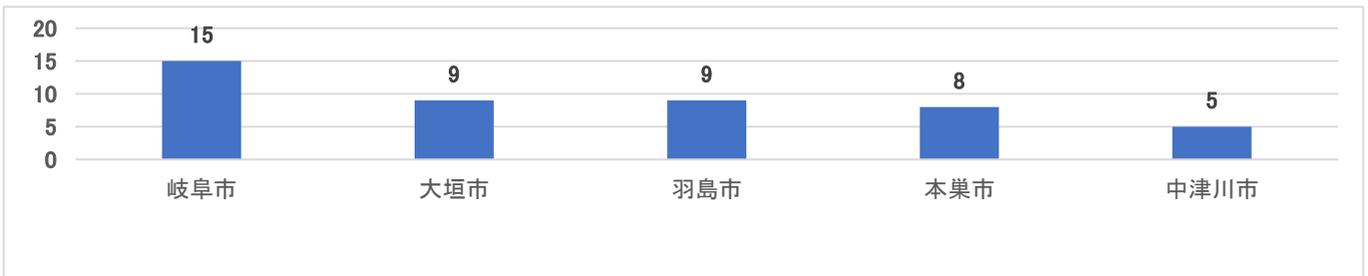


錠破り等による被害は25%

## 4 建物別発生状況

建物別認知件数	会社・事務所	飲食店	他の商店	その他
	87	0	5	9

## 5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



### ～ 事務所荒し被害防止のポイント ～

1. 事務所の周辺や駐車場などに防犯カメラやセンサーライトを設置しましょう。
2. 警備会社によるセキュリティシステムを導入するのも効果的です。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 事務所が無人となる休日や夜間には、貴重品・現金等を置かないようにしましょう。

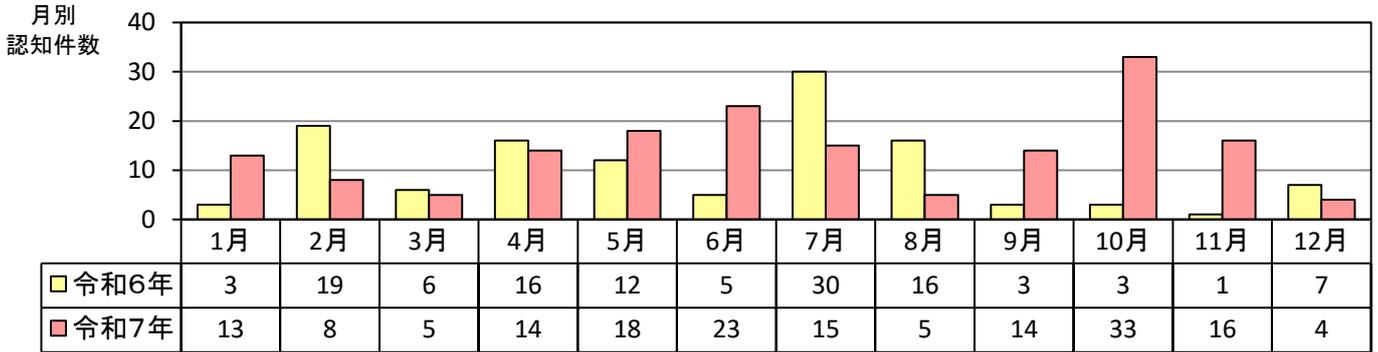
# 出店荒しの発生状況(令和7年中)

侵入  
犯罪

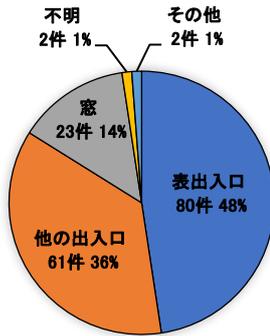
## 1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
168	+47	+38.8%

令和7年中、県内における出店荒しは累計で168件発生、被害総額は約3,144万円、前年比+47件(増減率+38.8%)となっており、約2日に1件発生しています。

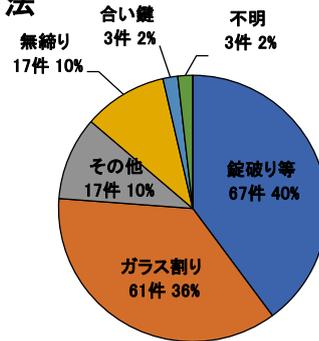


## 2 侵入箇所



出入口からの侵入被害は84%

## 3 侵入方法

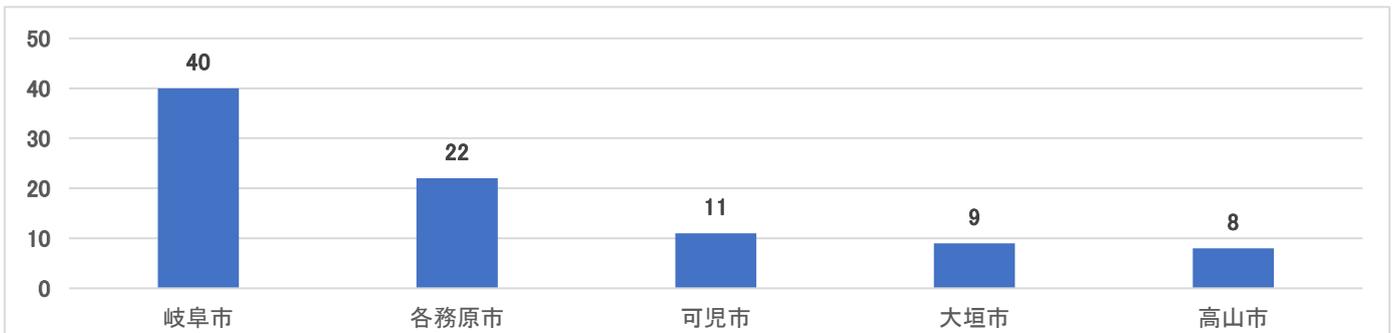


錠破り等による被害は40%

## 4 建物別発生状況

建物別認知件数	飲食店	他の店舗	会社・事務所	その他
	98	2	1	67

## 5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



### ～ 出店荒し被害防止のポイント ～

1. 店舗の周辺や駐車場などに防犯カメラやセンサーライトを設置しましょう。
2. 警備会社によるセキュリティシステムを導入するのも効果的です。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 店舗が無人人となる休日や夜間には、貴重品・現金等を置かないようにしましょう。

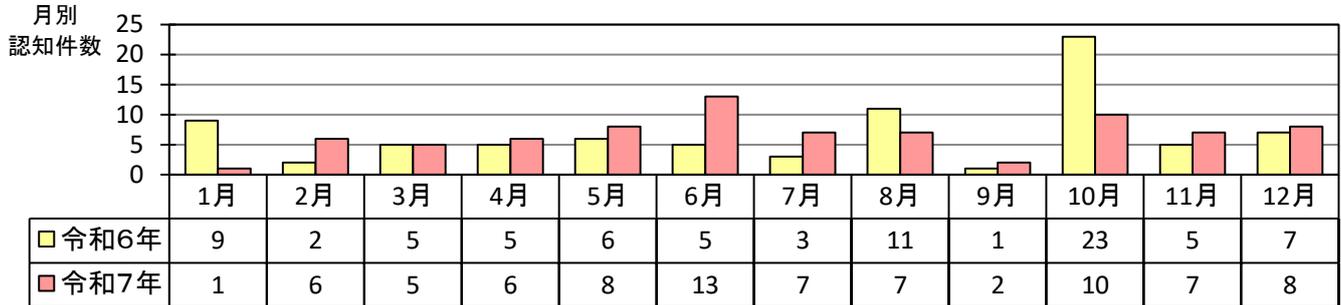
# 不同意わいせつの発生状況(令和7年中)

その他

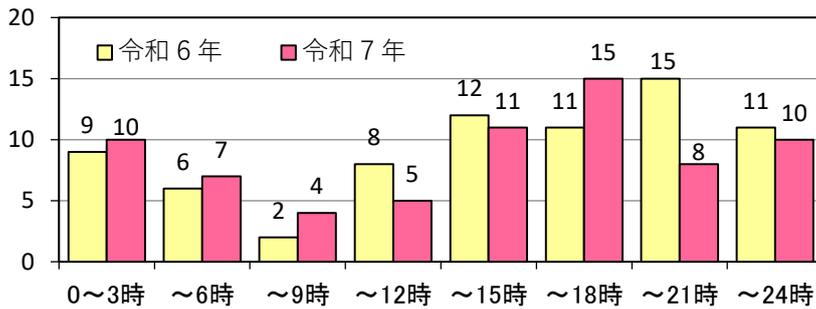
## 1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
80	-2	-2.4%

令和7年中、県内における不同意わいせつは累計で80件発生、前年比-2件(増減率-2.4%)となっています。

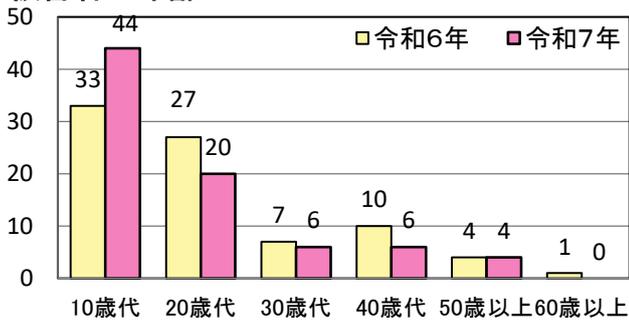


## 2 時間帯別発生状況

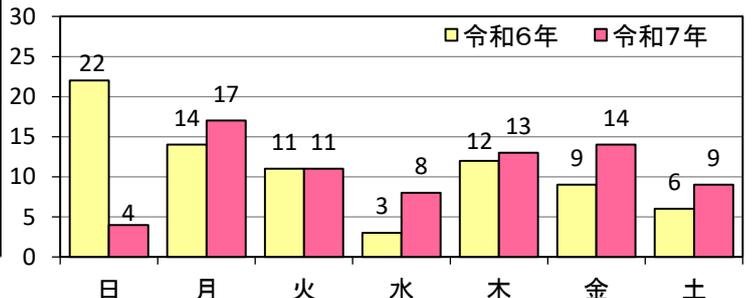


※令和6年時間帯不明 8件  
令和7年時間帯不明 10件

## 3 被害者の年齢

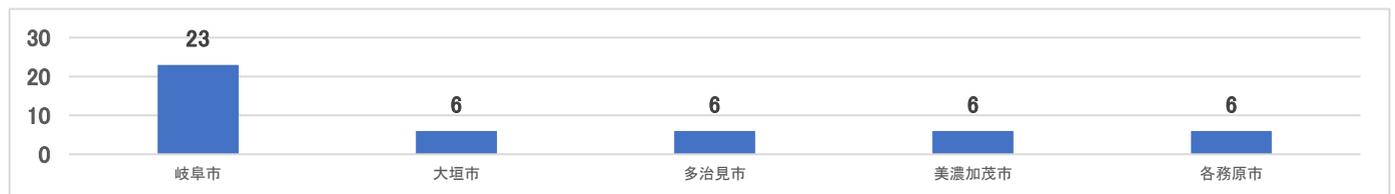


## 4 曜日別発生状況



※令和6年曜日不明 5件  
令和7年曜日不明 4件

## 5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



## ～ 不同意わいせつ被害防止のポイント ～

1. 夜間の外出は、街路灯に照らされ、人通りの多い道を歩きましょう。
2. 道路を歩く時は、イヤホン(音楽)などで耳を塞がず、周りを警戒しましょう。
3. 防犯ブザーなどの防犯器具を持ち歩きましょう。
4. 女性の一人暮らしの場合は、表札の名前を苗字にするなどして、一人暮らしを悟られないようにし、配達や集金を装う者が訪問しても、すぐには扉を開けず、ドアチェーンを掛けて対応するよう心掛けましょう。

# 万引きの発生状況(令和7年中)

その他

## 1 万引きの認知件数

### (1) 令和7年中

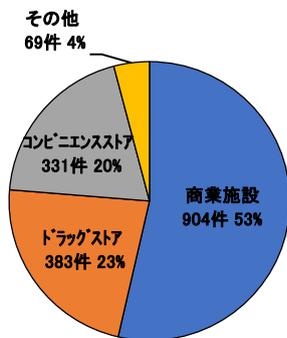
認知件数	前年比	増減率
1,687	+121	+7.7%

### (2) 月ごとの推移(認知件数)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和6年	133	118	115	139	124	128	140	105	139	155	139	131	1,566
令和7年	137	111	146	143	162	131	174	127	147	154	133	122	1,687

令和7年中、県内における万引きは累計で1,687件発生、前年比+121件(増減率+7.7%)となっています。

## 2 被害施設



## 3 被害金額

順位	場所	被害金額(千円)
1	商業施設	18,979
2	ドラッグストア	7,543
3	その他	2,905
4	コンビニ	629

- ・ 商業施設における被害額が最も多い
- ・ ドラッグストアにおける一件当たりの被害額は、約19,700円

商業施設における被害は53%

※ 商業施設とは、デパート、ショッピングモール、スーパーなど

## 4 ドラッグストア対象万引き

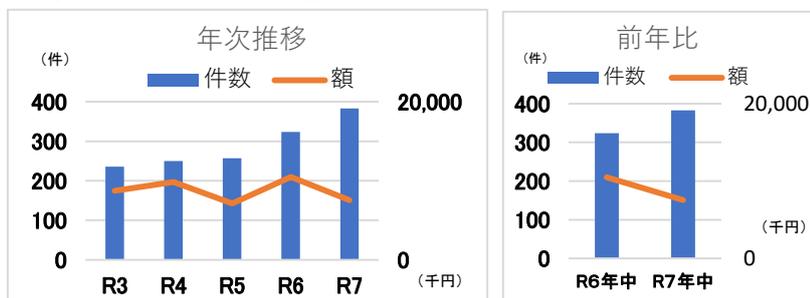
### (1) 令和7年中

認知件数	前年比	増減率
383	+59	+18.2%

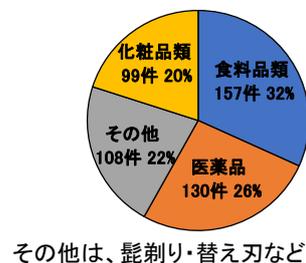
### (2) 月ごとの推移(認知件数)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和6年	32	27	36	24	17	18	33	20	25	35	33	24	324
令和7年	41	27	35	29	36	37	41	34	26	23	22	32	383

### (3) 認知件数と被害額の推移



### (4) 主な被害品(複数計上)



## ～ 万引き被害防止のポイント ～

1. 来店客には、顔を見て「いらっしゃいませ」などと積極的に声掛けし、万引きをさせない雰囲気づくりに努めましょう。
2. 店舗内に死角が生じないように、商品の陳列棚等の設置場所や商品の陳列方法に配慮しましょう。
3. 売り場や店舗出入口のほか、駐車場等の店舗周辺にも防犯カメラを設置しましょう。